

Title	めつき企業における経営情報システムの開発
Sub Title	
Author	山下裕司(Yamashita, Yuuji) 伏見多美雄
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1980
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001980-0109">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001980-0109</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 山下裕司

主査 伏見多美雄 教授

副査 柳原一夫 助教授

所属ゼミナール 柳原一夫 研

小野桂之介 助教授

## 「めっき企業における経営情報システムの開発」

本研究はめっき企業において経営情報システム(MIS)を開発しようとする事例研究である。対象企業は業界で大手といわれ、従業員数約130名の専業メーカーであるが、これまでにMISを開発した経験がない。まずめっき業界および企業について調査をおこなった。その間にシステム開発はユーザが主導すべきであるとの観点から、企業内でシステム概念が理解され、賛同されるように努力しながら、ユーザと共に解決すべき問題の発見に力を注いだ。当社にとって最初のシステム開発(MIS)という点を考慮して、アプリケーションの選択基準としては、理解が容易で、ユーザに重要と認められることを条件として適用領域を捜していた結果、生産計画情報システムが妥当であるとの結論に達した。その理由は、得意先の発注システムの不備により、場当りの生産をおこなっているラインについて、生産計画を作成するのに必要な情報を提供するシステムの必要性が見出されたからである。このシステムによって生産性の向上が期待される。このシステムは、多量のデータを取扱うことから、コンピュータの使用が条件となり、機器の選定、プログラムの作成、システムの導入等、全般的な設計・開発・導入計画を含む作業をおこなった。このシステムは昭和55年12月より稼動している。得意先からの情報を入力データとするために今後は情報の提供がタイムリーになされるよう、得意先に働きかけてゆかなければならない。MISの開発は継続されるべき性質のものであるが、現時点での本研究の成果は、企業に対して、システム思考、コンピュータの能力についての認識、そしてシステム開発の経験をなしたことにあつた。自社によるMISの開発が期待される。